

## 競技戦術

ディスクの投法に鍛錬を積み、狙った位置に狙い通りの強さで投げられるようにすることが、勝利の基本ですが以下のような戦術も考えると良いでしょう。

- 先攻でポイントを投げられるのは、ジャンケンで勝った1イニング目と、前のイニングで負けたときです。負けたチームが次のイニングで先攻してポイントを投げられるようにしたルールは、先攻チームが有利だからです。

この有利な条件を生かして、自チームにとってポイントをどこの位置に置くかを考えます。

投げる技術が高ければポイントセット位置は、エンドライン近く又はサイドライン近くが良いでしょう。遠い位置ほど近づけるのが難しく且つポイントがライン近くにあると、ディスクがコートアウトしやすいためかなり高い技術が要求されます。

- ディスクをポイントに近づけることが勝ちにつながりますが、自チームのディスクはポイントの手前に置くように心がけます。相手チームがディスクをポイントに近づけることの妨げになるだけでなく、ポイントを移動し難しくなります。
- コート上のポイントとディスクの状況を十分に判断して、①どこを狙って ②どのような投げ方で ③どの位の強さで ④投盤ラインのどの場所から投げるかを決めて下さい。コートの滑り方を見極めることも大切です。ただし、判断に迷って30秒を超えないように注意して下さい。
- 自チームと相手チームの手持ち枚数を常に意識しておくことも大切です。場面によっては、ポイントを場外にはじき出して点数を稼ぐ戦術も考えられます。